

帯広市の防災対策事業の取り組みについて

【平成26年度の防災対策事業報告】

1 災害に強い都市基盤整備

(1) 公共施設の耐震化

- コミュニティ施設の耐震化 ～ 光南福祉センター、西福祉センター、北栄福祉センター
 - ・(耐震化診断、実施設計) ～ 東コミュニティセンター、鉄南コミュニティセンター、大空会館、愛国農業センター、啓西福祉センター
- 児童保育センターの耐震化 ～ 青葉児童保育センター(建替)、大空児童保育センター(大空小学校内移転)、清川児童保育センター(移転改築)

(2) 耐震改修促進計画

- 特定建築物の耐震化率 81.7% (内訳：総数683棟 耐震558棟 非耐震125棟)
(平成25年度末)
- 木造住宅への耐震化支援を実施
 - 無料耐震簡易診断
 - 耐震診断・耐震改修補助制度
 - 耐震改修・リフォーム資金貸付制度

2 防災意識づくり

(1) 防災意識の普及・啓発

ア 帯広市地域防災訓練の実施

- 日 時： 平成26年8月31日(日)
- 場 所： 帯広市立啓西小学校 (帯広市柏林台中町4丁目1-1)
- 参 加： 市民 400名、関係機関・職員 200名 合計 600名
- 協力機関： 帯広開発建設部、陸上自衛隊第4普通科連隊、十勝総合振興局、帯広警察署、他 計24団体
- 訓練内容： 住民避難訓練、要援護者避難支援訓練、安否確認訓練、給水訓練、初期消火訓練、救助救出訓練、応急手当訓練等

イ 帯広市冬季防災訓練の実施

- 日 時： 平成27年1月31日(土)～2月1日(日)
- 場 所： 帯広市立つつじが丘小学校(帯広市西24条南3丁目39番地)
- 参 加： 市民 94名、関係機関・職員 106名 合計 200名
- 協力機関： とち防災マスターネットワーク、防災協定締結企業等
- 訓練内容： 避難訓練、避難所開所訓練、給水訓練、災害時要援護者搬送訓練、屋外救助救出訓練、炊出訓練、グループ研修、災害対策本部通信訓練(職員)、避難所宿泊体験等

ウ 「防災セミナー in とかち2014」の開催

日 時： 平成26年11月27日（木） 午後1時30分～午後5時00分

場 所： とかちプラザ（帯広市西4条南13丁目）

開催機関： 帯広市、帯広市町内会連合会

【第1部】防災講演会 <レインボーホール、午後1時30分～午後2時50分>

講演内容： 「予防減災は住民自主と地域連携が担う」

講 師： 北海道大学名誉教授 新谷 融 氏

参 加： 244名

同時開催： 耐震相談、訓練相談コーナー及び防災グッズの展示

【第2部】防災リーダー研修会 <大集会室、午後3時15分～午後5時00分>

研修内容： 「大地震から生き残るため」～大地震発生時の町内会の役割～

状況付与型災害図上訓練（DIG）

参 加： 91名

エ 防災グッズ展の開催

日 時： 平成27年1月13日（火）～16日（金）

場 所： 市役所1階市民ホール（帯広市西5条南7丁目）

見 学 者： 698名

展示内容： 非常持出品、非常食料、家屋転倒防止器具、市備蓄品の展示他

オ 防災啓発DVDの作成

概 要： 災害啓発ビデオ「災害に備えて」（再生時間15分）

構 成： 「自助・共助・公助」について、防災訓練の紹介等

貸出場所： 庁舎5階総務課、各コミュニティセンター、図書館等で貸出

利用件数： 24件

カ わが家の防災チェックの改訂

市民に日頃から防災への意識を高めていただくため、洪水ハザードマップや防災情報を盛り込んだ小冊子「わが家の防災チェック」改訂版を作成し全戸配布した。

3 防災体制の充実

(1) 災害用品備品の購入・更新

【主な購入備品】

- 備蓄用アルファ米の更新（2,400食分）
- 備蓄用非常食料（サバイバルフーズ）の追加購入備蓄（240食分）
- 粉ミルク（アレルギー疾患対応）の購入備蓄（8,4kg）
- 災害対応用トイレ（し尿処理剤）の追加購入備蓄（7,000個）
- アルミロールマットの追加購入備蓄（500枚）
- 備蓄用消火器の購入（35本）
- LEDバルーン投光機（1セット）
- 発電機（1台）
- 飲料水（おびひろ極上水）の備蓄

(2) 災害時の広報・通信体制の充実

電波法の改正を受け、電波のより一層の有効利用を図るとともに、大災害時の通信手段を確保するため、平成22年度に地域防災無線をデジタル化へ移行した。

また、緊急地震速報や弾道ミサイル攻撃等の情報を、瞬時に市民へ伝達することが出来るよう、J-ALERT（全国瞬時警報システム）の情報を防災無線経由で、全小中学校へ配信出来るよう整備を行った。

【防災無線の概要】

統制局（統制台：帯広市総務部総務課）

簡易中継局（広野小学校）

半固定無線局 ～ 83局

車載無線局 ～ 26局

携帯無線局 ～ 11局 計 120局

○J-ALERT 配信訓練（全国一斉訓練）

日 時：平成26年11月5日（水） 10時00分

対 象：市内全小中学校、南商業高校

○地域防災無線の通信訓練実施

日 時：平成26年12月15日（月）～ 19日（金）

対 象：地域防災無線設置の全施設

(3) 自主防災組織の育成

○帯広市町内会連合会と連携し、自主防災組織の結成と育成を積極的に推進。

33対象組織中、現在25組織が組織化

○自主防災組織研修会講師派遣事業

自主防災組織等で実施する防災講演会に講師を派遣

実施団体：10団体

参加人数：597人

○自主防災組織研修会等助成事業 ～コミュニティ防災強化緊急3ヶ年事業（H25～H27）

自主防災組織の防災活動を一層推進し、地域防災力の向上を図る。

自主防災組織の活動に対し、助成を行った。

区分	自主防災組織	助成限度額	助成実績
連合町内会	新規結成	100,000円	0団体
	結成済	50,000円	17団体
単位町内会	新規結成	15,000円	57団体
	結成済		

（平成27年2月 現在）

○職員による出前講座の実施状況（平成27年2月 現在）

実施団体：54団体

参加人数：2,107人

- 親子防災講座の実施状況（平成27年2月 現在）
 - 実施回数： 8回（7小学校、1中学校）
 - 参加人数： 1,475人

（4）災害時要援護者対策

「おびひろ避難支援プラン」（全体計画）を平成22年2月に策定。

- 災害時要援護者登録申請書の登録状況
 - （平成27年2月現在 3,022名が登録）
- 個別計画作成協議会の設置～6地区（むつみ、大空、やまと、西帯広、大正、西帯広ニュータウン地区連合町内会）において協議会の設置。
 - 単位町内会においても協議会の設置を推進（和興、善友、西一九、20条4、五中北、北栄）
- 登録者の更新作業

（5）防災協定の締結

- 締結先： ヤフー株式会社
- 締結日： 平成27年1月5日
- 内 容： 「災害時における情報発信時に関する協定」

【平成27年度の防災対策事業計画(案)】

1 災害に強い都市基盤整備

(1) 公共施設の耐震化

- コミュニティ施設の耐震化 ～ 東コミュニティセンター、愛国農業センター、啓西福祉センター、鉄南コミュニティセンター（実施設計）

(2) 耐震改修促進計画

- 木造住宅への耐震化支援を継続実施

2 防災意識づくり

(1) 防災意識の普及・啓発

- 帯広市地域防災訓練の実施

日時：平成27年8月30日（日）（予定）

場所：東小（予定）

- 帯広市冬季防災訓練の実施

日時：平成28年1月（予定）

場所：未定

- 防災セミナーの開催

日時：平成27年7月中旬（予定）

場所：未定

内容：未定

講師：未定

- 防災グッズ展の開催

日時：平成28年1月12日～15日（予定）

3 防災体制の充実

(1) 災害用品備品の購入・更新

- 非常用食料（アルファ米、サバイバルフーズ）の更新・購入

- 粉ミルク（アレルギー疾患対応）の購入備蓄

- 備蓄用消火器の購入

- 飲料水（おびひろ極上水）の備蓄

(2) 災害時の広報・通信体制の充実

- 地域防災無線の通信訓練

- J-ALERT 緊急地震速報配信訓練

(3) 自主防災組織の育成

○自主防災組織研修会等助成事業

～コミュニティ防災強化緊急3ヶ年事業（H25～H27）の継続

区分	自主防災組織	助成限度額	助成枠
連合町内会	新規結成	100,000円	2団体
	結成済	50,000円	24団体
単位町内会	新規結成	15,000円	40団体
	結成済		

○防災リーダー研修会の開催

○自主防災組織研修会講師派遣事業

○職員による出前講座、親子防災講座の実施

(4) 災害時要援護者対策

「おびひろ避難支援プラン」（全体計画）に則り、災害時要援護者対策を推進する。

（具体的作業）

○計画の市民周知

○登録希望者の受付作業

○登録者の更新作業

○地域における個別計画作成協議会の設置

○社会福祉施設に対する防災対策の普及・啓発

(5) 避難場所・避難所の変更

○避難場所の変更・見直し作業

(6) その他

○防災協定の締結推進